

2025年3月期 決算ハイライト



連結決算概要	1
単体決算概要	2
預金残高(単体)／預り資産残高(単体)	3
貸出金残高(単体)／事業者向け残高・個人ローン残高(単体)	4
有価証券残高(単体)／有価証券利回り・評価損益(単体)	5
諸利回り(単体)／経費・コアOHR(単体)	6
自己資本比率（単体）	7
金融再生法開示債権(単体)	8
株主還元(連結)	9
2026年3月期の連結・単体業績予想	10
企業価値向上へ向けた取り組み	11

連結決算概要



【連結決算の概要】

(百万円)

項目	2023年度 実績	2024年度 公表計数	2024年度 実績	2023年度比		達成率
				増減額	増減率	
経常収益	24,065	24,300	25,661	+1,596	+6.6%	105.6%
経常利益	2,312	2,200	2,603	+290	+12.5%	118.3%
当期純利益	1,530	1,500	1,817	+286	+18.7%	121.1%

※連結当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。

(連結決算のポイント)

- 連結経常収益は、貸出金利息の増加や株式等売却益の増加等により、前年比6.6%増（+1,596百万円）の25,661百万円と6年連続の増収
- 連結経常利益は、前年比12.5%増（+290百万円）の2,603百万円と2年ぶりの増益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年比18.7%増（+286百万円）の1,817百万円と2年ぶりの増益

※単体決算の概要

(百万円)

項目	2023年度 実績	2024年度 公表計数	2024年度 実績	2023年度比		達成率
				増減額	増減率	
経常収益	17,876	18,100	19,388	+1,511	+8.4%	107.1%
経常利益	2,100	2,000	2,284	+184	+8.7%	114.2%
当期純利益	1,412	1,400	1,620	+207	+14.7%	115.7%

単体決算概要



- ・ 経常収益は、貸出金利息(+584百万円)や株式等売却益(+448百万円)の増加等により、前年比 1,511百万円増加(+8.4%)
- ・ 経常利益は、与信関連費用(+406百万円)が増加したものの、株式等関係損益(+505百万円)や貸出金利息等の増加による資金利益(+220百万円)が増加したため、前年比 184百万円増加(+8.7%)

【損益状況(単体)】

(百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	前年比
経常収益	17,876	19,388	+1,511
業務粗利益	14,185	14,155	△30
うち資金利益	13,272	13,492	+220
うち役務取引等利益	1,244	1,355	+111
経費	11,046	11,113	+66
コア業務純益	3,090	3,238	+148
除く投信解約損益	3,004	3,207	+203
一般貸倒引当金繰入額①	△23	6	+29
業務純益	3,162	3,035	△126
臨時損益	△1,062	△751	+311
うち不良債権処理額②	939	1,316	+376
うち株式等関係損益	96	601	+505
うちその他損益	△219	△36	+183
経常利益	2,100	2,284	+184
当期純利益	1,412	1,620	+207

与信関連費用 (①+②)

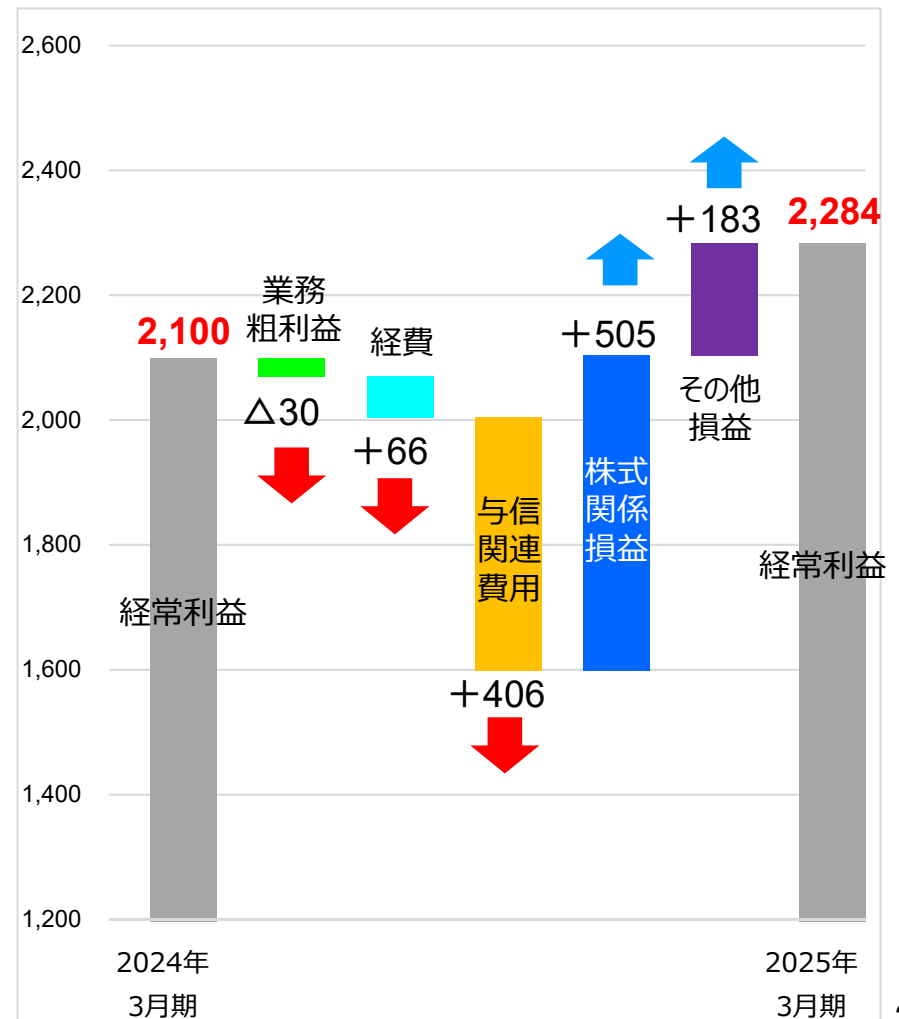
915

1,322

+406

【経常利益の増減要因】

(百万円)



預金残高(単体)／預り資産残高(単体)

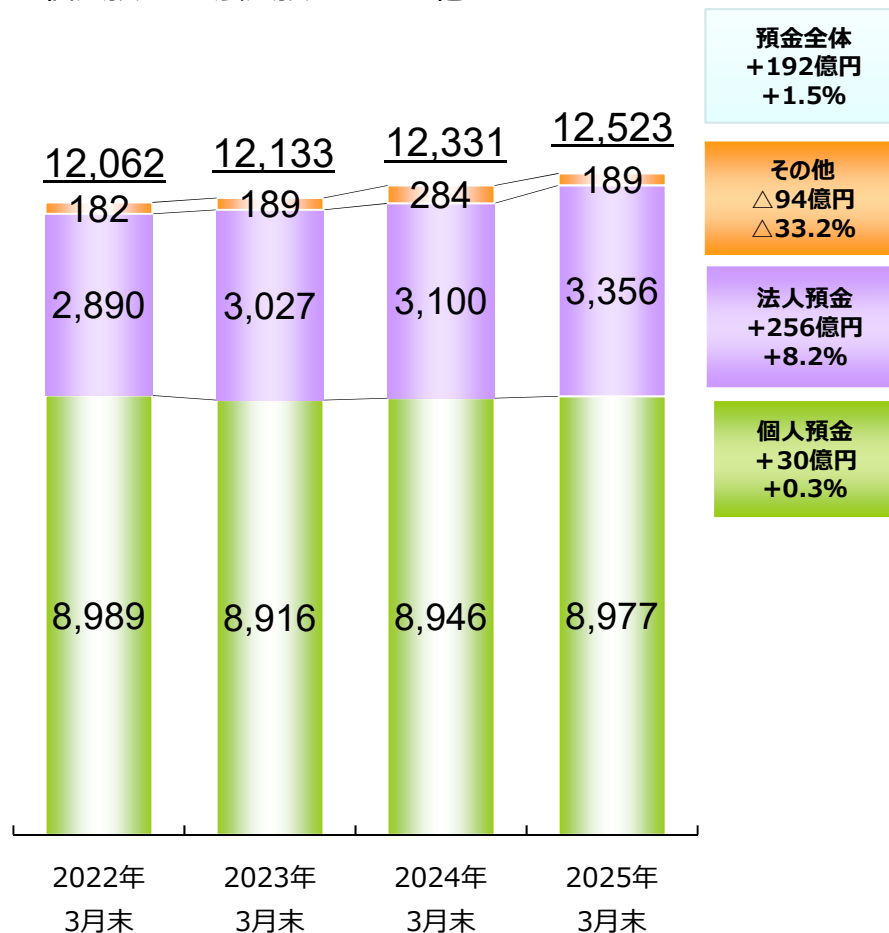


- 預金は、法人・個人預金共に増加したこと等により、2024年3月末比192億円増加(+1.5%)の1兆2,523億円
- 預り資産残高（預金含む）は、預金残高の増加に加え、投資信託や個人年金保険の残高も増加したため、2024年3月末比228億円増加(+1.6%)の1兆4,307億円

【預金残高の推移(単体)】

(億円)

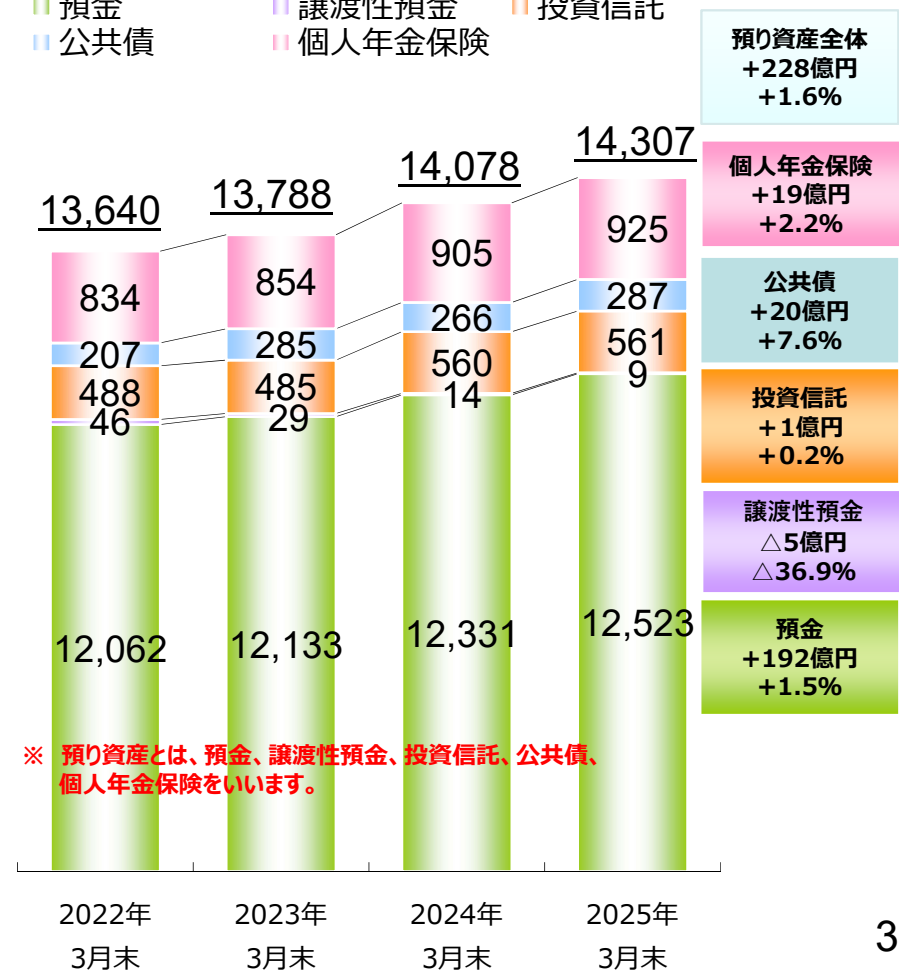
■ 個人預金 ■ 法人預金 ■ その他



【預り資産残高の推移(単体)】

(億円)

■ 預金 ■ 譲渡性預金 ■ 投資信託
■ 公共債 ■ 個人年金保険



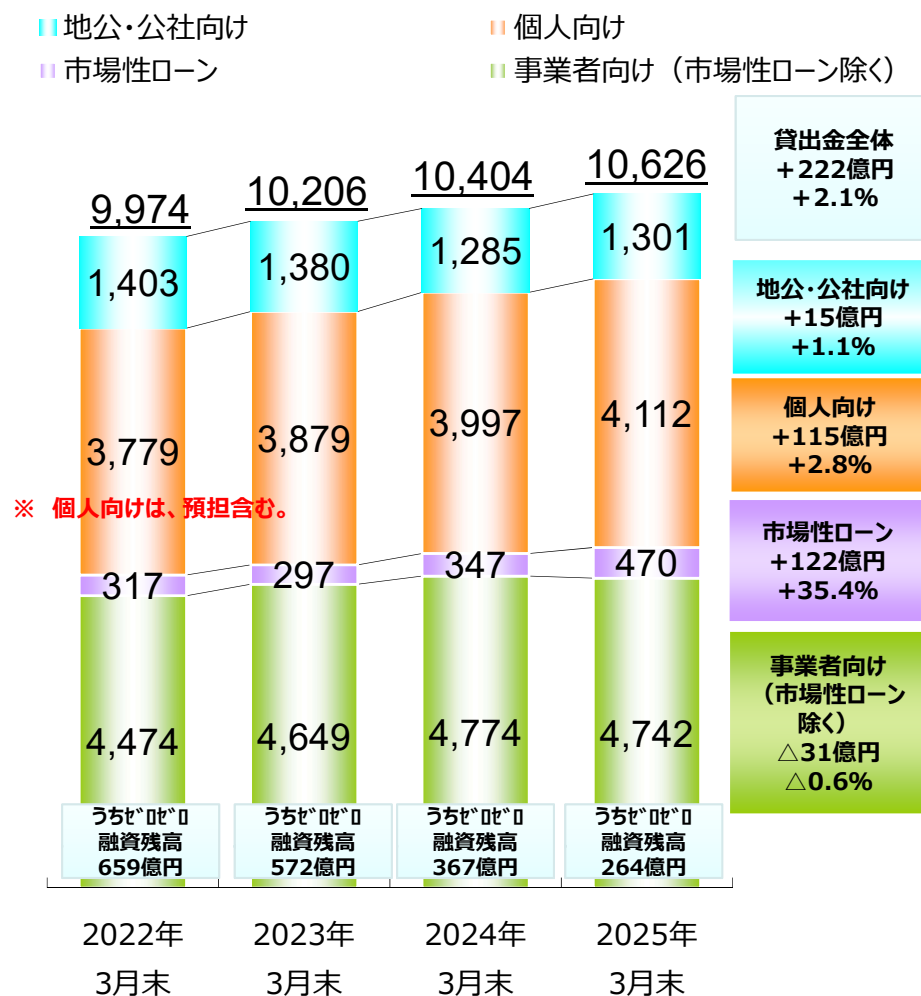
貸出金残高(単体)／事業者向け残高・個人ローン残高(単体)



- 貸出金残高は、個人向け貸出が増加したこと等により、2024年3月末比 222億円増加(+2.1%)の1兆626億円
- 事業者向け残高(市場性ローン除く)は、中堅企業、中小企業向け残高が減少し、2024年3月末比 31億円減少(△0.6%)の4,742億円
- 個人ローン残高は、住宅ローン、消費者ローン共に増加し、2024年3月末比 116億円増加(+2.9%)の4,099億円

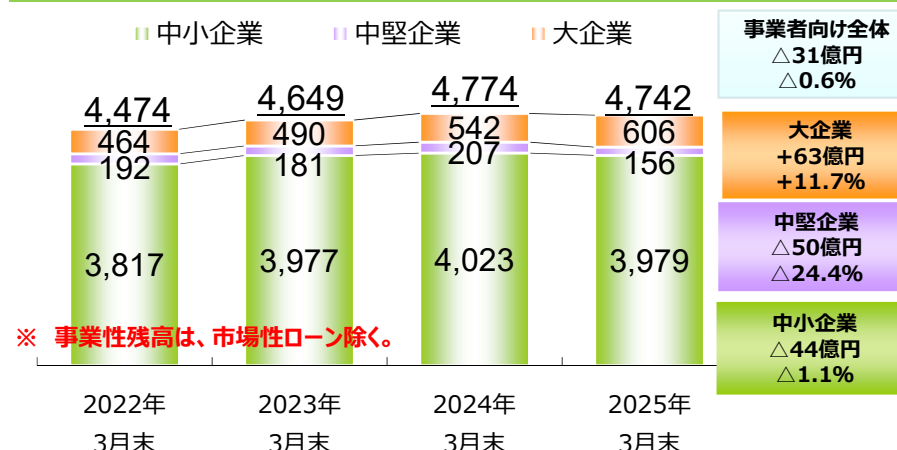
【貸出金残高の推移(単体)】

(億円)



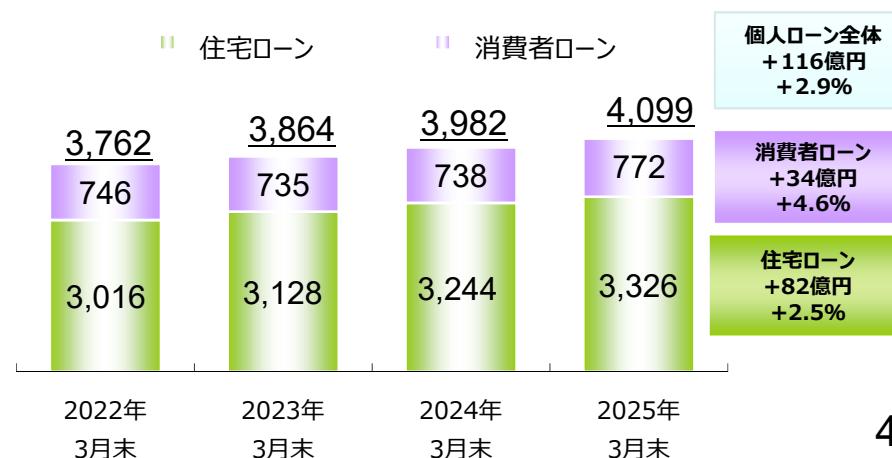
【事業者向け残高の推移(単体)】

(億円)



【個人ローン残高の推移(単体)】

(億円)



有価証券残高(単体)／有価証券利回り・評価損益(単体)

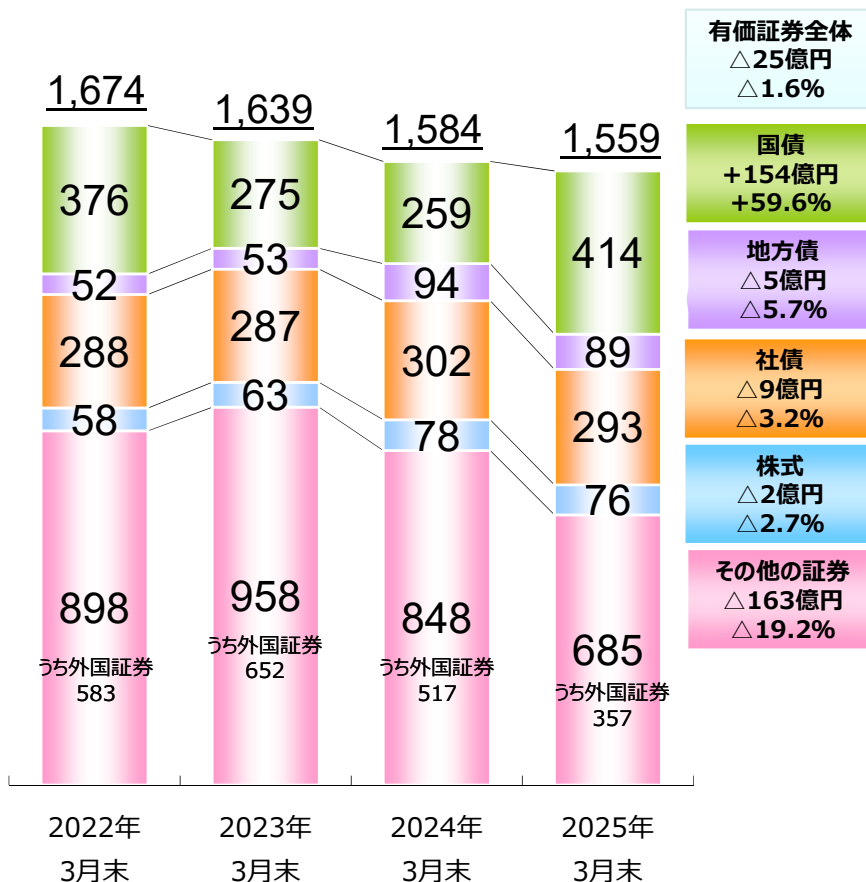


- 有価証券残高は、外国証券の償還等により、2024年3月末比 25億円減少 (△1.6%)の 1,559億円
- 有価証券利回りは、国内債の利息増加等により、2024年3月期比 0.10%上昇の1.31%
- 有価証券評価損益は、国内金利上昇等の影響により、2024年3月末比 3,687百万円減少の △2,186百万円

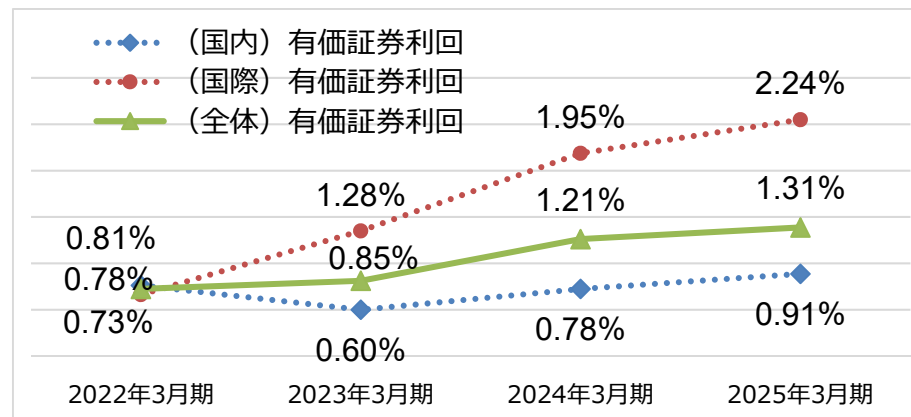
【有価証券残高の推移(単体)】

(億円)

■ その他証券 ■ 株式 ■ 社債 ■ 地方債 ■ 国債



【有価証券利回りの推移(単体)】



【有価証券評価損益の状況(単体)】

(百万円)

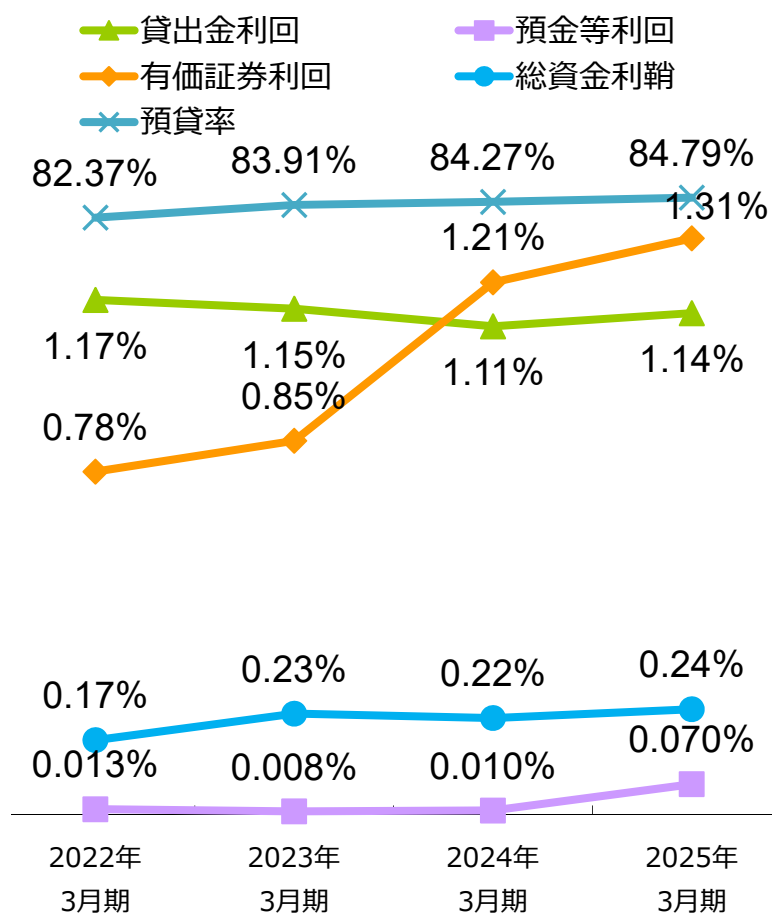
	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	2024年3月末比
合 計	2,228	△ 281	1,501	△ 2,186	△ 3,687
満期保有目的	462	307	117	△ 116	△ 233
その他の有価証券	1,765	△ 589	1,384	△ 2,070	△ 3,454
株 式	2,317	2,353	3,838	3,741	△ 97
債 券	△ 81	△ 223	△ 613	△ 2,966	△ 2,353
その他	△ 469	△ 2,718	△ 1,841	△ 2,844	△ 1,003
うち外国証券	△ 265	△ 976	△ 568	△ 1,074	△ 506
うち外貨等	△ 204	△ 1,741	△ 1,272	△ 1,770	△ 497

諸利回り(単体)／経費・コアOHR(単体)



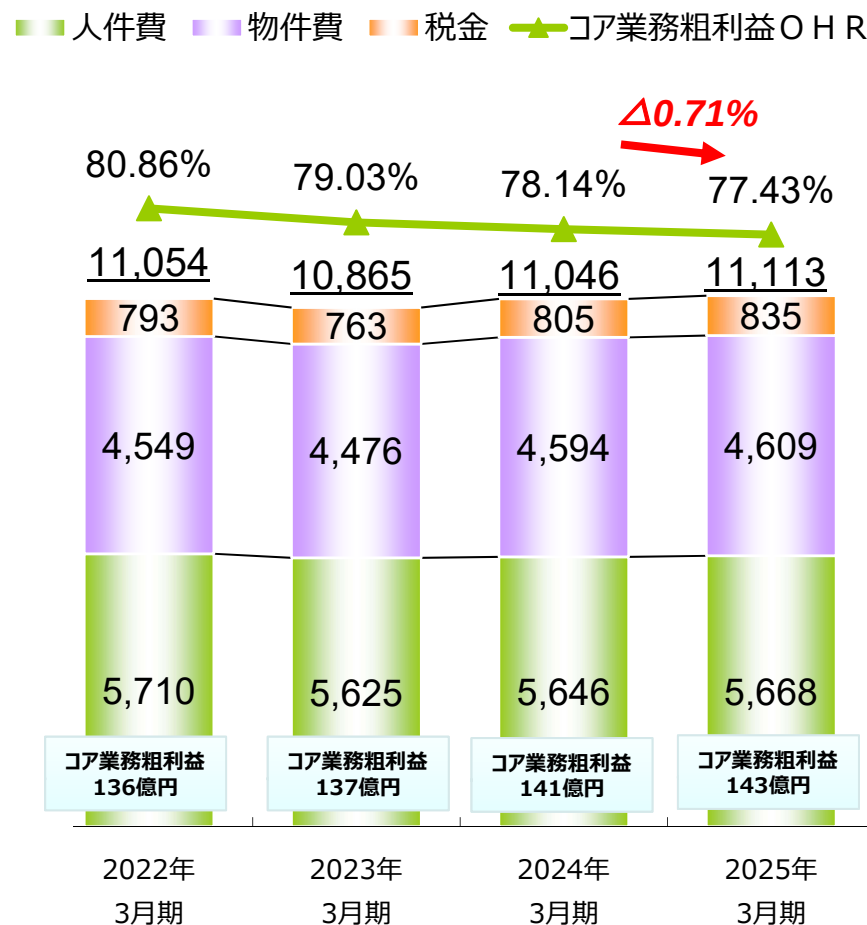
- 貸出金利回りは、2024年3月期比 0.03%上昇し、1.14%
- 預金等利回りは、2024年3月期比 0.06%上昇し、0.070%
- 総資金利鞘は、2024年3月期比 0.02%上昇し、0.24%
- 預貸率は、2024年3月期比 0.52%上昇し、84.79%
- コアOHRは、コア業務粗利益が増加したこと等により、2024年3月期比 0.71%低下の77.43%

【諸利回りの推移(単体)】



【経費・コアOHRの推移(単体)】

(百万円)



自己資本比率（単体）

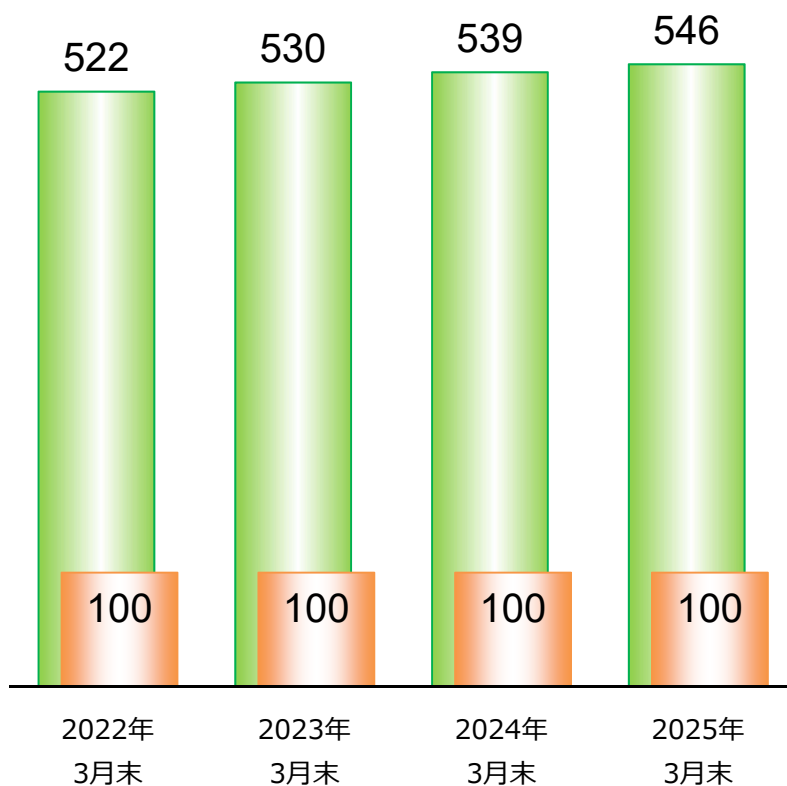


- 自己資本比率（単体）は、リスクアセットが2024年3月末比 104億円減少したため、2024年3月末比 0.27%上昇し8.89%

【自己資本の推移(単体)】

(億円)

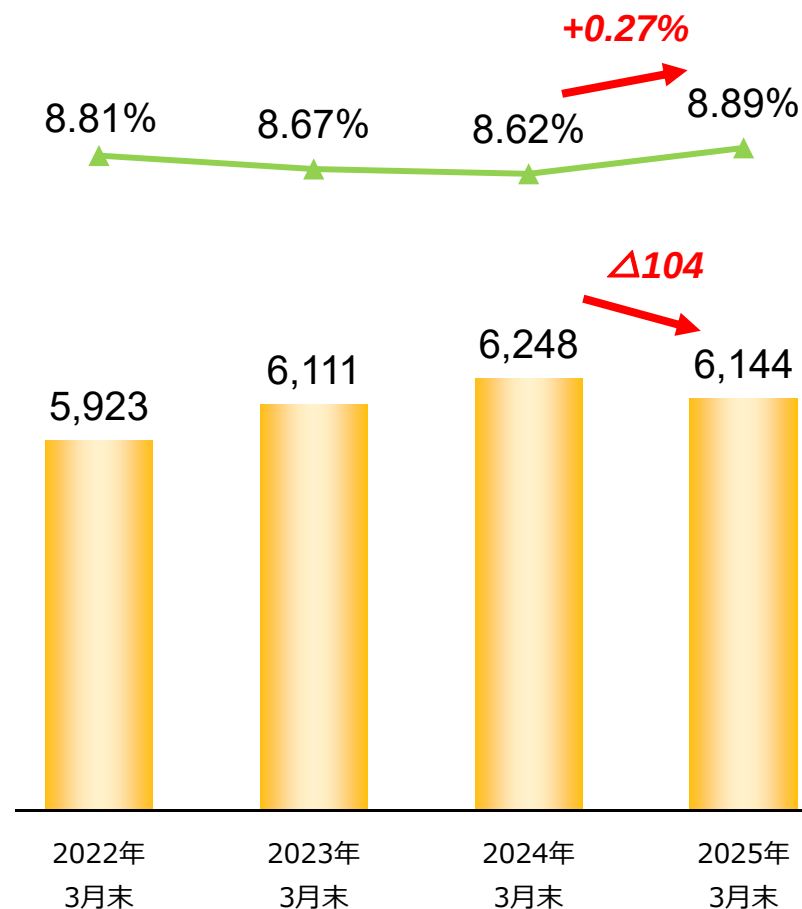
■ 自己資本額 ■ うち優先株の残高



【自己資本比率・リスクアセットの推移(単体)】

(億円)

■ リスクアセット ▲ 自己資本比率



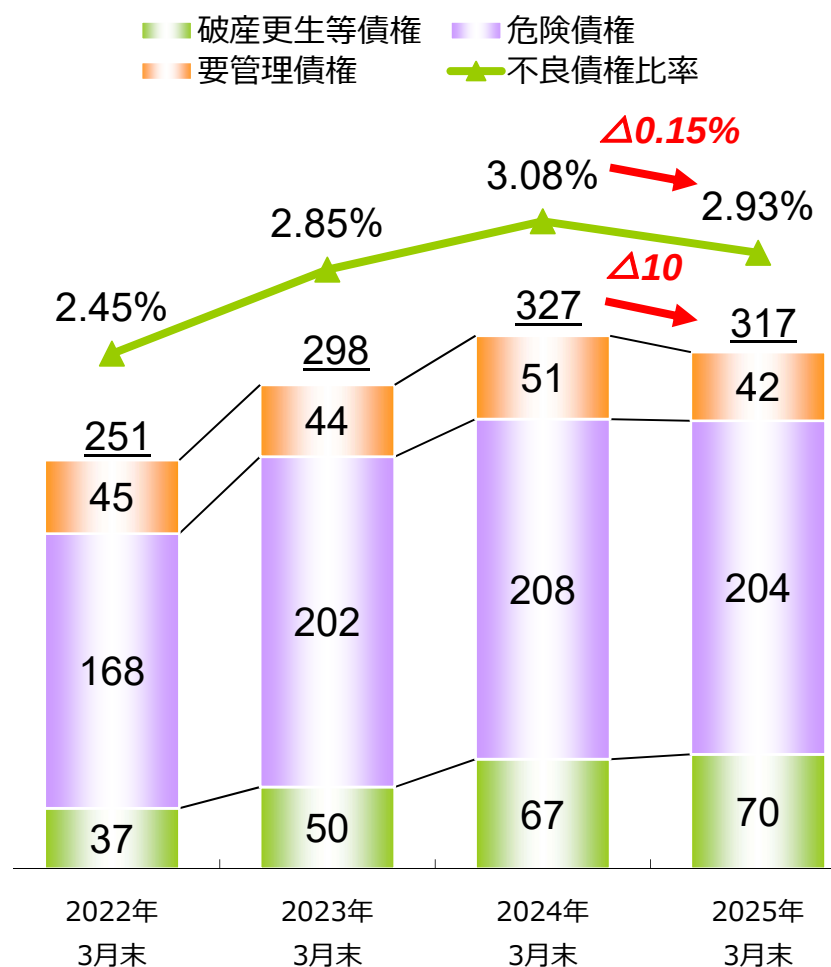
金融再生法開示債権(単体)



- 金融再生法開示債権は、2024年3月末比 10億円減少 (△3.2%) の317億円
- 不良債権比率 (金融再生法開示債権比率) は、2024年3月末比 0.15%低下の2.93%
- 保全率は、2024年3月末比 2.82%上昇の82.19%

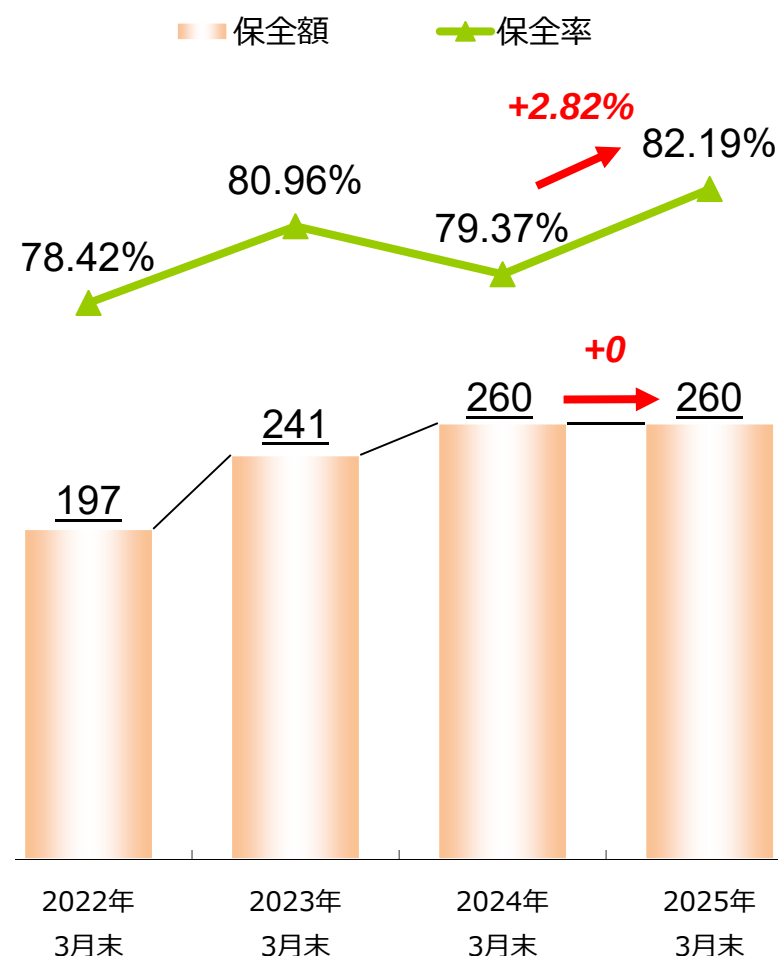
【金融再生法開示債権(単体)】

(億円)



【金融再生法開示債権(単体)の保全状況】

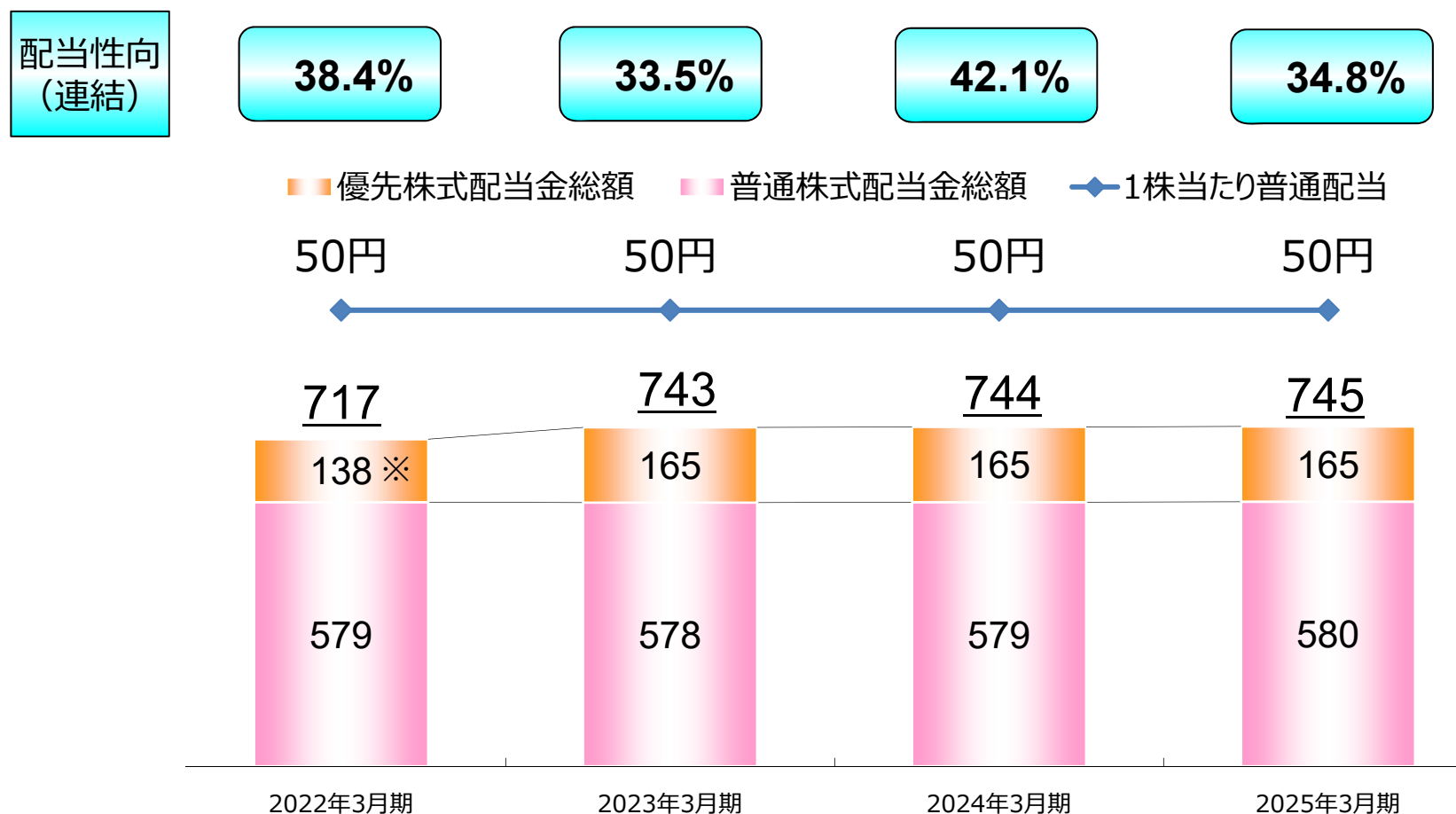
(億円)



- 経営体質強化のため内部留保の充実を勘案し、安定した配当の継続を実施

【配当性向（連結）・1株当たり普通配当・配当金総額】

(百万円)



※ 2022年3月期の優先株式配当金総額については、2021年12月に第2回優先株式を発行し、第1回優先株式を消却しております。そのため、配当優先株式に係る償還差額28百万円を計上していますが、配当金総額には含まれておりません。

2026年3月期の連結・単体業績予想



【 連 結 】

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率) (百万円)

項目	経常収益	経常利益	当期純利益
第2四半期(累計)	13,100	950	650
【中間期】	(+0.7%)	(△8.1%)	(△7.6%)
通 期	27,100	2,650	1,850
	(+5.6%)	(+1.7%)	(+1.7%)

【 単 体 】

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率) (百万円)

項目	経常収益	経常利益	当期純利益
第2四半期(累計)	10,000	800	550
【中間期】	(+1.3%)	(△9.9%)	(△11.3%)
通 期	20,900	2,400	1,700
	(+7.7%)	(+5.0%)	(+4.9%)

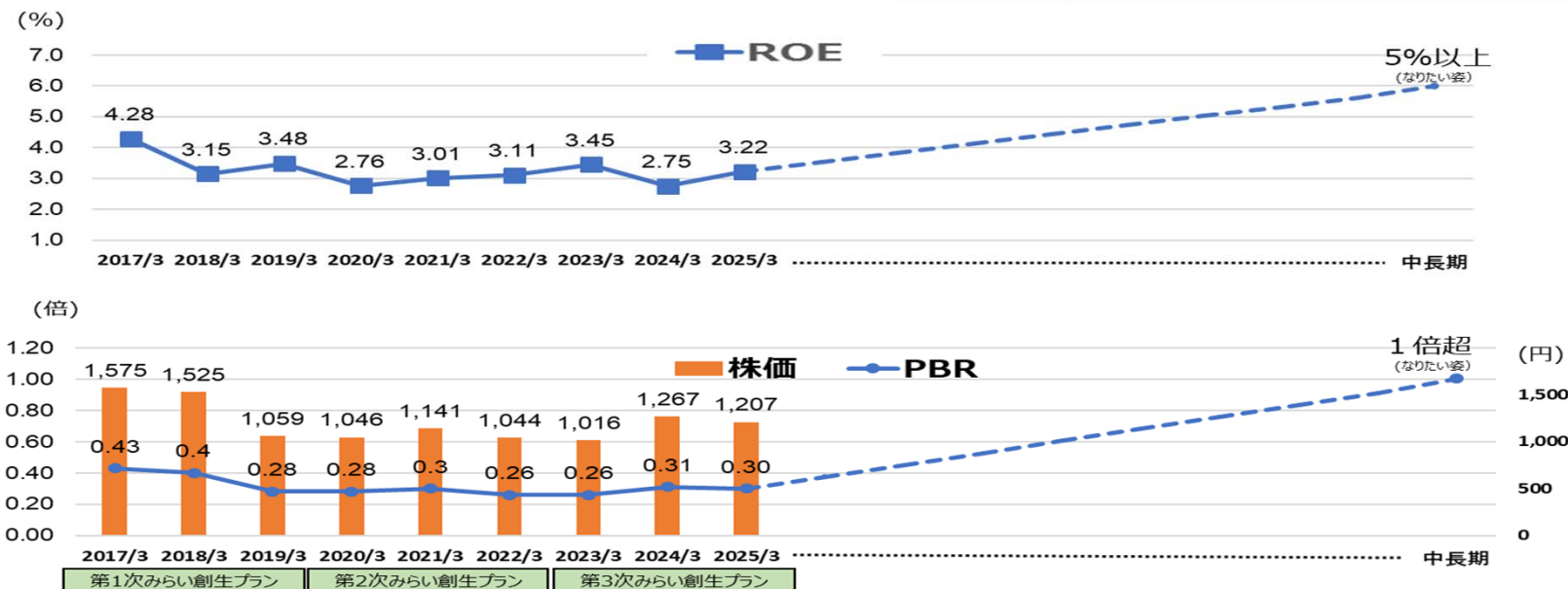
企業価値向上へ向けた取り組み



・中期経営計画「第4次 みらい創生プラン」を着実に実行し企業価値を高めるとともに、中長期的には株主資本コストを超えるROE（資本収益性）及びPBR 1倍超の水準を目指す

◆ ROE・PBR・株価の推移（連結ベース）

■ 株主資本コストの推計（当社独自試算）
● CAPM（ $R_f + \beta \times \text{リスクプレミアム}$ （マーケット期待収益率 - R_f ）） ⇒ 株主資本コストは6%程度と認識



◆ ROE（資本収益性）向上に向けた取り組み

